

静岡

伊豆半島の魅力を発信するアンテナショップ『美・伊豆』が今年3月27日、横浜市の横浜中華街にオープンした。伊豆半島の13市町でつくる「美しい伊豆創造センター」が手掛ける初のアンテナショップで、伊豆の特産品を販売し、観光や移住のPRコーナーも設けて、広く伊豆地域の魅力を発信する。

アンテナショップは3階建てビルの1、2階で、延べ床面積は約240平方メートル。1階ではラスクやカステラ、干物など100種類以上の伊豆の土産品を販売し、2階の飲食コーナーでは地ビールのほか伊豆の食材を使ったランチが楽しめる。

横浜中華街には年間3,500万人が訪れるが、地方自治体のアンテナショップの出店は初である。すでに全国各地のアンテナショップがあふれる東京都内ではなく、伊豆半島に近い横浜に展開することで特色を出し、首都圏から来訪客を呼び込むのが狙い。

伊豆半島の魅力を 横浜中華街から発信



横浜中華街にオープンした伊豆半島アンテナショップ「美・伊豆」

オープンしてまだ日は浅いが、伊豆のお土産がここで買えるのはうれしいといった声や伊豆の新鮮な魚介類がおいしいといった声が届いており、まずまずの出だしといったところである。

作家の川端康成が伊豆序説で「伊豆半島全体が一つの大きい公園である」と評したように、伊豆半島は自然、情景、動植物や食材、歴史・文化、温泉等の資源の多様性があり、しかもどれも魅力的で奥が深く、観光地としてのポテンシャルは今も世界のトップレベルにある。これらは伊豆の強みとなっているが、一方で多様性が豊かであるがゆえに、一つにまとまれないことがこれまでの最大の弱点でもあった。

こうした課題を解決するために13市町、13地域観光協会などが一体になり、「伊豆を一つに」をテーマに、世界から賞賛され続ける地域を目指し策定された伊豆半島ランドデザインを推進するために、美しい伊豆創造センターが2015年に設立された。

同センターではこれまで伊豆地域で一丸となった情報発信を目指し、インフラ整備や観光パンフレットの作成、自転車観光の振興などに取り組んできた。

また、日本ジオパークに認定される「伊豆半島ジオパーク」は世界ジオパークへの認定を目指しており、順調にいけば今年秋の国際会議で勧告を受け、来年春に認定される見通しという。認定されれば、世界中から訪問客が訪れる絶好の機会となる。

アンテナショップでは今後、伊豆半島の13市町や地元企業などのイベントを多く開催し、伊豆の魅力を積極的にアピールしていく予定である。また、横浜中華街には中華料理を食べにくるお客さま以外に、中華街やその周辺で働く人も多く、アンテナショップが伊豆とのつながりをつくる結節点になり、伊豆とのビジネスマッチングに発展していくことも期待されている。

今後、ショップ以外に、Webやフェイスブックでも情報発信を積極的に行っていく。

『美・伊豆』伊豆半島アンテナショップ

神奈川県横浜市中区山下町220番地(長安道沿い)

Tel 045-222-8202

Web <http://www.izu-peninsula.com>

Facebook 美伊豆

Opening hours 11:00~21:00